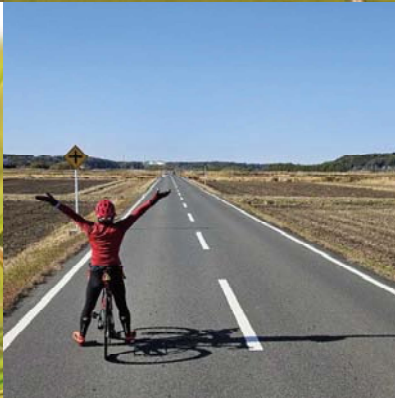




# 稲敷市 都市計画 マスタープラン

多様な環境に抱かれ、新たな価値観が生まれる  
“みんなの未来都市”



## 市長挨拶

稲敷市では、2010（平成22）年に策定した「稲敷市都市計画マスタープラン」に基づき、人口減少や少子高齢化、経済の低迷といった社会情勢を踏まえながら、首都圏中央連絡自動車道の整備効果を最大限に生かす都市づくりと、既存ストックを活用したコンパクトな都市形成を推進してまいりました。



しかしながら、人口減少や少子高齢化の進行は当時の想定を上回り、本市は過疎地域の指定を受けるなど、都市の持続性が危ぶまれる状況に直面しております。

こうした中、2024（令和6）年に第3次稲敷市総合計画を策定し、本市の将来像として「自然とともに豊かさや幸せを実感できるまち～いなしきの新たなステージへ～」を掲げ、新たなまちづくりの取り組みを本格的にスタートさせました。

これからの都市経営においては、人口減少や少子高齢化を前提としつつも、首都圏中央連絡自動車道のさらなる整備進展や成田空港の機能強化といった環境変化をチャンスとして確実に捉え、持続可能な都市構造へと転換していかなければなりません。

本市では、市民アンケートやワークショップを通じて市民の皆様のご意向を把握するとともに、周辺自治体との関係性や地域単位での詳細な分析を重ねてまいりました。急速に変化する社会潮流の中にあっても、多様な主体がそれぞれの強みを生かしながら有機的につながり、将来像の実現を目指すため、このたび将来都市像を「多様な環境に抱かれ、新たな価値観が生まれる“みんなの未来都市”」とする「第2次稲敷市都市計画マスタープラン」を策定いたしました。

本計画は、2045（令和27）年度を目標年次とする20年間の計画であり、その実現には、多様な主体が相互に連携し、ともにまちづくりに取り組むことが欠かせません。持続可能な都市の実現に向け、市民の皆様をはじめ、各種団体、民間企業、そして本市に関わるすべての皆様のご理解・ご協力・ご参画を賜りながら、新たなまちづくりを着実かつ力強く推進してまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

2026年3月

稲敷市長

寛 信太郎

# 目次

## 序章 策定に関する基本方針

1. 都市計画マスタープランの概要.....	1
2. 計画策定の背景と必要性.....	1
3. 計画の構成及び位置づけ.....	2
4. 策定体制.....	3
5. 目標年次.....	3

## 第1章 将来都市像

1. 本市の課題・問題点の整理.....	4
2. 都市づくりの目標.....	5
3. 将来目標人口.....	7
4. 将来都市構造.....	8
5. 重点まちづくりプロジェクト.....	17

## 第2章 分野別方針

1. 土地利用の方針.....	22
2. 拠点形成の方針.....	24
3. 都市機能誘導の方針.....	25
4. 道路ネットワークの方針.....	26
5. 公共交通ネットワークの方針.....	28
6. 公園・緑地の方針.....	29
7. 上・下水道及び河川等の方針.....	31
8. 景観形成の方針.....	32
9. 防災まちづくりの方針.....	33
10. 住宅・住環境の方針.....	34
11. 観光・交流のまちづくりの方針.....	35
12. 持続可能なまちづくりの方針.....	36
13. 市民協働のまちづくりの方針.....	37

## 第3章 地域別方針

1. 地域区分の設定.....	39
2. 各地域の将来像とまちづくりの方針.....	40
3. 地域ごとの方針.....	42

## 第4章 実現化方策

1. 将来都市像の実現に向けて.....	58
2. 協働のまちづくり.....	59
3. 効率的・効果的なまちづくり.....	61
4. 各種制度を活用したまちづくり.....	62

## 参考資料

1. 本市の概況.....	64
2. 上位関連計画の整理.....	65
3. 本市の現況.....	73
4. 市民意向.....	99
5. 地区別カルテ.....	105
6. 策定経緯.....	136
7. 策定組織.....	137
8. 諮問・答申.....	140
9. 市民参加の状況.....	142
10. 用語集.....	143